

中国総研
地域再発見
BOOKS
4

中国地方の 鉄道探見

鉄道の歴史とその魅力

中国地方のローカル鉄道を探訪し 新たな発見に出会う物語

公益社団法人
中国地方総合研究センター編



中国地方総合研究センター

単行本、モノクロ
306ページ、B6判
発売：2014年9月

1,700円+税

鉄道は人や貨物を運ぶ手段であるとともに地域経済や文化の発展をもたらしてきた。また路線とその沿線は人々を引き付ける地域の財産ともなっている。さまざまな路線網が明治以来構築されてきた過程で地域がどのように変貌してきたのか、各路線はどんな魅力を持っているのかを知ることが、鉄道路線と鉄道遺産の今後の活用や地域の魅力向上にもつながる。

内容

- 「鉄道と社会」 (石井幸孝、JR九州初代社長・会長)
- 「山陽鉄道の敷設」 (長船友則、鉄道研究家)
- 「軍事的背景で敷設された路線とその後」 (三宅俊彦、鉄道史研究家)
- 「産業の発達と資材輸送のための鉄道」 (松永和生、鉄道友の会中国支部長)
- 「魅力的な駅舎のデザイン」 (杉崎行恭、鉄道フォトライター)
- 「鉄道路線の変遷をたどる」 (今尾恵介、鉄道・地形図研究家)
- 「文学に描かれた中国地方の鉄道」 (原口隆行、鉄道研究家)
- 「都会の足となる路面電車～岡山電気軌道～」 (岡将男、公共の交通 RACDA 会長)
- 「都会の足となる路面電車～広島電鉄～」 (加藤一孝、広島市こども文化科学館元館長)
- 「最新システムで運行する新たな路線」 (河野俊輔、鉄道友の会中国支部事務局長)
- 「可部線廃線区間と今福線未成線区間を歩く」 (森口誠之、鉄道研究家)
- 「備後地域を走った民営鉄道」 (浦田慎、広島大学大学院特任助教)
- 「人々を引き付ける異色の駅長」 (江種浩文、中国地方総合研究センター主任研究員)
- 「若桜鉄道のダイナミズム」 (米山淳一、日本鉄道保存協会事務局長)
- 「レールバイク先進国韓国の鉄道廃線利用」 (秋田紀之、中国地方総合研究センター主任研究員)
- 「廃止路線と廃止車両を生かした地域活動」 (浜中裕史、ふるさと鉄道保存協会広報担当理事) 他

[編集・発行] 公益社団法人 中国地方総合研究センター [印刷・製本] 産興

